

伐採木等を利用した堆肥・緑化基盤材

【製品概要】

伐採木等を利用した堆肥・緑化基盤材

県活用方針

従来品と同等の機能の「やまぐち発新製品」(リサイクル製品)

【活用地域】

○原材料(伐採木等)の供給地である県内全域から工事箇所を選定

【法面緑化施工写真】



【堆肥施工写真】

【製造者】山陽チップ工業株式会社

山陽チップ工業は「環境林業」をめざし、森林資源のリサイクル事業に取り組んでいます。 www.sanyochip.com

木から土へ。土から木へ。

環境にやさしいサイクルです。

伐採木等の木質資源のリサイクルを行っており、従来、産業物の処理による灰や塵により近隣の住宅環境を悩ますなどの公害はもとより、排されるCO₂が地球温暖化を早めると言われており、これら環境に配慮した「環境にやさしい方法」で処理することに取り組んでいます。その一つが堆肥化にあります。

フォレストコンボ・サンヨコンボ

伐採された樹木や草刈、枯葉をリサイクルしたもの(チップ・コンボ)を原料とした緑化基盤材です。

●草・枝・下木・下草根などを原料に使用

●有機物のみを使用しているため、保水性・保肥性を高めます。

●有効微生物の繁殖を促します。

●初期養分が均一です。

●土が固くならぬ、肥料がとれず、有害微生物の繁殖を促します。

●保水力・保肥力が低下します。

●通気性・排水性が改善されます。

サンヨパーク

広葉樹皮を主原料として(日本パーフ)製紙会社の副産品(樹皮)をリサイクルした、環境配慮の堆肥・緑化基盤材です。

●国産広葉樹皮を100%原料に使用

●土が固くならぬ、肥料がとれず、有害微生物の繁殖を促します。

●保水力・保肥力が低下します。

●通気性・排水性が改善されます。

森林資源リサイクルの流れ

伐採木等(樹皮、枝、下木、下草根) → 堆肥・緑化基盤材 → 緑化・植林 → 成長した木 → 伐採 → 堆肥・緑化基盤材

こんなところに

- 緑化工事
- 植林事業
- 花弁・園芸
- 有農園事業
- 堆肥製造工場(県内各地)
- 自然環境サイクルを考える上で「育てる」ことは、始めの第一歩
- ユーカリ樹 植林事業
- 自由式維持機で木質(枝葉、樹皮)をチップ化
- ナチュレイエローによる栽培比較試験
- 「栄養腐植」と「耐久腐植」のダブル腐植効果
- こまつなによる幼植物試験

RE サイクル やまぐち

【製造者】株式会社サントイ

YE ソイル 2 号は、建設工事等で発生する伐採木・枝葉等のリサイクルを行い、廃棄物ゼロとするゼロエミッションを目標として開発された緑化基盤材です。

(山口県認定リサイクル製品、平成 17 年度：認定番号 181 号)

地産地消…山口県内の現場で発生した伐採木・伐根材・竹等の木材チップの再利用

通気性保水性保肥性の高く、有効な微生物を多く含む特殊な土壌改良土を含有

黒用土(森林土壌)を混合することで、物理化学・生物性の向上を図ると共に、改良土に含まれる微生物の働きで植物の成長阻害を緩和

保水性・保温性が高く、緑化生育、植栽木の成長を助成

木質繊維のネットワークにより耐侵食性が向上

田畑・植栽工の土壌改良材・増量材としても活用

高い品質を保持するため、植生基盤材の窒素飢餓・成長抑制の回避



YE ソイル 2 号施工例：二鹿・川越線（施工後 3 年）

【製造者】株式会社西日本グリーンリサイクル

エコ堆肥グリーンリポート F

伐採材や剪定枝葉、刈草などの植物発生材の破砕物と、食品関係事業で発生する食品廃棄物（生ごみ乾燥物）を原料として発酵させた環境にやさしい堆肥です。



植物発生材の破砕物



ブレンドして切り直し作業を繰り返し、発酵促進



約3カ月でエコ堆肥完成



食品廃棄物の乾燥物



山口県認定リサイクル製品 第 267 号

造園・農業・土壌改良



【製造者】有限会社環境アメニティー

環境にやさしい 山口県資源循環型 緑化基盤材「BCグリーン」

○土壌の通気性を改善し土壌水を浄化

竹炭の一番の特徴は多孔質という点で、表面積は木炭の四倍以上もあるので吸湿力や臭いの吸着力にも優れています。

○微生物の増殖や土壌病害虫の抑制を助ける。

竹炭はアルカリ成分を多く含むので、水中に入れるとPHを調整します。

○植物をいきいきとさせ、植物の芽や葉を丈夫にする。

豊富なミネラル分は、木炭の3倍以上も含まれているケイ酸は、植物の茎や葉を丈夫にします。内容成分を見ると、ケイ酸とカリウムがバランスよく含まれており、灰分、ナトリウム、カルシウム、鉄といったミネラル分も豊富です。

○初期育成、植生維持の向上が期待できます。

竹炭を緑化基盤材に混合すると、ミネラル分を補給し、酸性土壌を改良する作用や土壌温度を幾分か高めることが出来ます。



■概要

BCグリーン（法面緑化基盤材）は、山口県内で発生します伐採木、伐根を堆肥化したものを基材とし、山口県産の竹炭を混合させることによって保水性の飛躍的増大、軽量化による自然崩壊の軽減、圧着率の向上、乾燥害の軽減、熱吸収（潜熱）の増大、雨水の浄化、酸性土壌の改善、植生保全、大量のCO2の固定などを一度に実現することを可能にしました。